

採復本月十四日附
 本社の社長宛申書
 正に存見候。且社長は
 折角の申書趣作に入
 午の希望なき。且他に
 申書趣申上る。心考
 も無之由に。申書趣
 尤不悪。申書趣知
 る。

十二月廿一日

本山

代

陳懷澄様

